

## 札幌市自閉症者自立支援センター等の開設について

自閉症の方が地域で自立した生活を送れるように支援するための拠点として、平成 16 年 10 月から整備を進めてきた「札幌市自閉症者自立支援センター」および「札幌市自閉症・発達障害支援センター」からなる施設（愛称：「ゆい」）が、このほど完成しました。

「札幌市自閉症者自立支援センター」は、自閉症の方が地域で生活するために必要な能力を身に付けるための生活指導を行う入所更生施設や通所者に生活指導などを行うデイサービスセンターなどを備えています。

また、「自閉症・発達障害支援センター」は、発達障がいのある方やその家族からの相談を受けたり、療育・就労支援を行ったりする場となります。

こうした複合施設を市レベルで建設するのは全国で初めてです。

### 1 所在地

札幌市東区東雁来町 2 0 7 番地

### 2 建物構造

鉄骨造 2 階建て

### 3 面積

敷地面積：13,000.03 m<sup>2</sup>

延床面積：3,091.75 m<sup>2</sup>（ほかに作業棟 188.8 m<sup>2</sup>）

### 4 施設の内容

(1) 札幌市自閉症者自立支援センター（知的障がいのある自閉症者が対象。なお、短期入所事業は自閉症児も対象）

- ・ 知的障害者入所更生施設（定員 30 人・1 階）
- ・ 知的障害者デイサービスセンター（1 日 15 人・1 階）
- ・ 知的障害児（者）短期入所事業（定員 6 人・1 階）
- ・ 体育館・研修室（2 階）
- ・ 休憩・交流室（2 階）

(2) 札幌市自閉症・発達障害支援センター（高機能自閉症者やアスペルガー症候群等を含む発達障がい児者が対象）

- ・ 札幌市自閉症・発達障害支援センター（2 階）

### 5 施設の特徴・理念

(1) 障がい特性に応じた施設機能

自閉症の障がい特性の 1 つとして、周囲からの刺激に影響を受けやすいことが挙げられることから、入所施設は全室個室で、少人数によるユニットケア（1 ユニット 6 人）を行う。

ユニットケア = 施設において、少人数の生活単位（ユニット）ごとに療育する方式。生活単位は、入所者用の個室と共用スペース（台所・居間・トイレ・浴室など）で構成される。

(2) 地域生活への移行を推進

病院や施設に入院(所)している者に対し、自閉症の障がい特性に応じた専門療育を行い、地域生活への移行を推進する中間療育施設とする。

(3) 障がいの状態に対応する設備

行動障がいが強く現れる入所初期に利用する強度行動障がいユニットから、退所前などに利用する独立ユニットまで、障がいの状態に応じて利用できる設備を整える。

6 愛称「ゆい」

「病院や施設から地域生活への移行を推進する(病院、施設と地域を結ぶ)」「自閉症に関する関係団体との連携を図る(関係機関同士を結ぶ)」という施設の役割を表す「結」の文字を平仮名にしたもの。

7 施設の運営

指定管理者である社会福祉法人はるにれの里(平中 忠信理事長)が運営する。

8 開設記念式典

平成 17 年 10 月 28 日(金)午後 3 時 30 分～午後 4 時

テープカット、市長式辞、来賓祝辞。式典終了後、施設見学(1 時間程度)

9 業務開始

平成 17 年 11 月 1 日(火)

開所時間：午前 8 時 45 分～午後 5 時 15 分

休所日(入所施設を除く)：土・日曜日、祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

10 施設の事前公開(報道機関向け)

(1) 日時

平成 17 年 10 月 27 日(木)午後 2 時～

(2) 集合場所

2 階「会議室・ボランティア室」

(3) 内容

センターの概要説明の後、施設内をご案内いたします(所要時間：1 時間程度)。全体での説明終了後、午後 4 時まで個別の取材に応じます。

**各社ごとの来所希望人数を 10 月 25 日(火)までに下記の問い合わせ先へお知らせ願います。**

問い合わせ先

保健福祉局保健福祉部障がい福祉課

担当 小林・足立 電話 211-2936